



授業参観お世話になりました

6月20日(金)、6月26日(木)の授業参観では大変お世話になりました。また、その後の南校舎長寿命化説明会でも多くの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。新年度が始まってから三ヶ月が過ぎました。子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。4月に行われた授業参観の時と比べて、一人一人に成長の様子が見られたのではないのでしょうか。是非、その成長の様子をお子さんに伝えてあげてください。お家の方にはめられたり、認められたりすることは、子どもたちにとって大きな励みとなり、自信につながります。

《登下校について》

7月3日、全校で校外児童会を開きました。大人が見ていなくても、安全に登校、下校するために、どうすればよいか自分たちで考えるよい機会になります。

朝、ボランティアの方がいっしょに歩いてくれたり、私も登校の見守りをできる限り行ったりしておりますが、「班長を先頭にしっかり歩いてきている班」と「班が機能していない班」が見受けられます。交通少年団結団式では子どもたちに安全に歩くための「はひふ、へほ」を伝えました。

「は」走らない 「ひ」広がらない 「ふ」ふざけない

「へ」塀から出るときはよく見る 「ほ」歩道を歩く

しかし、安全な登下校については学校からの働きかけだけでは限界があります。ご家庭でも登下校について話題にさせていただき、みんなが安全・安心に登下校できるようご協力をお願いします。

「朝は登校班で一列に並んで登校しましょう。」

帰りは寄り道せずに通学路を通して帰りましょう。」

《教職員研修について》

教育公務員特例法21条によって「教職員は絶えず研究と修養に努めなければならない」とされています。本校では「自分の思いや考えを表現できる児童の育成」をテーマに研修を行っております。6月6日(金)には、東部教育事務所や町教育委員会の指導主事に来校していただき、学校運営・授業・校内研修に対する指導助言をいただきました。教職員も自分の資質向上のため、授業研究会で積極的に意見交換を行っていました。

